

## 社会科歴史的分野学習指導案

日時 平成15年4月28日 第2校時  
指導者 川内市立高城西中学校中学校 熊谷吉朗  
展 開 学 級 2 年

### 1 単元名 産業・交通・文化の広がり

### 2 単元について

江戸幕府において参勤交代の制度が確立したのは、1635年武家諸法度改訂の時である。大名は1年おきに領地と江戸に住み、その妻子を人質として江戸居住が義務付けられた。この法令は、辺境に位置する外様大名には負担が重く、その財力を削ぐねらいがあったと言われる。薩摩藩島津氏は、日数にして40日あまりかかり、参勤旅費は1万7000両などと言われている。この結果、幕藩体制は強化された。

この大名の移動が、五街道などの交通の整備・宿駅の繁栄をもたらした点は重要である。それに加えて、17世紀には農業技術が向上し、年貢米のみならず商品作物の流通がさかに行われるようになり、物資や人の移動という視点からも、街道をとらえる必要がある。

そこで、本単元は単に江戸時代の産業の交通と発達、それを受けた元禄文化の繁栄といった歴史的な事実を表面的に扱うのではなく、実際に街道を歩き、地域に密着した資料を調べることによって、その背景や影響、あるいはそれにかかわった人々の思いなど多面的・多角的に考察させたい。様々な資料や調査を通じて、上記のことを検討することにより、自分なりの意見をもち、理解を深めさせたい。

### 3 単元の目標

- (1) 農業など諸産業が発達し、商品作物の流通拡大が都市と交通の発達を促したことを理解する。
- (2) 薩摩街道から、当時の参勤交代の様子や影響などについて、身近な地域の資料や調査を基に考える。
- (3) 貨幣経済と都市の発展の中で、上方を中心に人間性豊かな元禄文化が民衆によって生まれたことを理解する。

### 4 指導計画

#### 第4章 近世の日本と世界

#### 第3節 産業・交通・文化の広がり(全4時間)

内 容	配 当 時 間
増える田畑	1
近世の「道」を調べよう～身近な地域の歴史をさぐる～	2(本時3/4)
浮世草子と浮世絵	1

### 5 本時の指導

#### (1) 本時の目標

薩摩街道を通った島津氏の参勤交代は、どのような影響をもたらしたか、資料や調査を

基に考える。

薩摩街道など、当時の海運や陸運による各地域の結び付きと対外的なつながりを理解する。

(2) 展開

過程	時配	学習内容と活動	教師の支援	資料・評価
導入	5分	前時に薩摩街道を歩き、どんな疑問が浮かんだか確認する。 本時の学習課題を確認する。 薩摩街道は、どのような影響をもたらしたのだろうか。	生徒の記憶が曖昧な場合のために、前時に薩摩街道を歩いたときの写真を用意する。	写真
展開	35分	グループに分かれ、資料から分かることを考える。 グループごとに発表する。 ゲストティーチャーに、分からなかった所を質問する。 ゲストティーチャーに、感想を聞く。 薩摩街道を通じた各地域のつながりなどを理解する。 薩摩街道の役割や影響についてまとめる。	資料は前時観点を明確にして分け与え、読み込ませた上でグループ化しておく。 郷土の歴史に詳しい橋口さんをゲストティーチャーに招き様々な視点から話をしてもらう。 時間配分を考慮してポイントを押さえた簡潔な説明を心掛ける。	評価資料 ・薩摩街道地図 ・「道の記」 ・湯田・西方歴史資料 意見プリント 学習プリント 評価
まとめ	10分	本時の授業の感想を書き、発表する。 自己評価をする。	発表が活発になるように、出された意見をできるだけ肯定的に評価する。 次回につなげる視点をもたせるよう配慮する。	評価

(3) 評価

薩摩街道を通った島津氏の参勤交代は、どのような影響をもたらしたか、資料や調査を基に考えることができたか。(社会的な思考・判断)

薩摩街道など、当時の海運や陸運による各地域の結び付きと対外的なつながりを理解できたか。(社会的な事象についての知識・理解)